

## 第1回審議会での意見概要

### 1 10年先さらにその先を見据え、考え、整理しておくべきこと

(過去の延長線上ではない環境変化への対応)

#### (1) 想像される変化

##### ① 政治、経済、社会の不安定な状況の継続、産業構造の転換

ア 市民や消費者などの意識変化により、まちづくりやビジネスに大きな変化が出てくるのではないか

イ 厳しい経済情勢においては、今、鹿児島市にあるものを見つめ直すことが大切ではないか

ウ 市民意識調査では、「雇用環境の確保」を重要と考える市民の割合が高くなっている

エ 時代の潮流に「景気の低迷」を加えてはどうか

##### ② アジア諸国における日本の地位低下

ア 経済的にはアジア諸国の中で沈没が進んでいくのではないか

##### ③ 温暖化被害の顕在化

ア 今後、鹿児島にもこれまでの想定を超えた被害が出てくるのではないか

##### ④ 少子高齢化や人口減少など

ア 「行政、地域、市民、ボランティア」、「高齢者、子ども」など、これからはみんなが一緒になってまちづくりを進めていく時代

イ 元気な高齢者の活躍の場が増える

ウ 今の子どもたちが、将来、その先の未来をきちんと考えていけるような教育が必要

エ 家族の構成、あり方の変化(→「大家族」への復帰も必要なのでは)

##### ⑤ まちづくりの理念の変化

ア 「現代世代と将来世代」、「私権と公益」、「環境と経済」など、利益相反しがちなものの関係性の変化

イ 「こうあるべき」を考える→「こうなってはいけない」を考える

ウ 市役所の役割は、高度経済成長時代の「予算の均等分配」→財政制約の中での「選択と判断による予算分配」に変わっている

エ 市役所が自分たちだけの判断で物事を見ていける時代は終わり、これからはそこをだれがカバーしていくのかという時代

#### (2) 変化を踏まえた主体的なビジョンの必要性

##### ① 鹿児島市民として主体的な努力をしていく方向性(ビジョン)を考える

ア 価値観の変化など、今はそれほど大きくないが、今後影響が増すであろうことなどについて考えてみる必要がある

イ 「市民がどういう意志を持って市役所とともにどういう負担をしながら自分たちの目標を持っていくのか」といった“目に見えないもの”がこれからの都市像のイメージではないか

##### ② これからは「選択」が重要

ア 想像される変化を見据え、掲げたものを同時には達成できないことを前提に、鹿児島市民としてどういう尺度で優先順位を決めていくのかという、選択を行う際の価値基準を、市民の覚悟としてつくっていくことが必要(ただしオールオアナッシングではなく)

イ 市民が望むこと全てを実現できない場面においては、市役所の説明責任として「その代わりにこういうことをしていく」という部分をメッセージとして示すことが必要

ウ 市役所ができることはここまでであり、市民みんなと一緒にってこういう社会を目指そう  
ということの基本構想で示し、それを意識して基本計画、実施計画にブレイクダウンする必要  
がある

エ 鹿児島市民として「豊かさ」をどこに求めるか（何を一番大事にするか）を考えることが必  
要

## 2 多くの市民の理解、参画、協働につながる市民レベルでの分かりやすさ

### (1) 市民レベルでの分かりやすさ

#### ① 「詳しく」ではなく「分かりやすく」

ア 市民にまず知ってもらうためにはできるだけ詳しくというより、できるだけ分かりやすく  
ということに視点を置くことが必要

#### ② 自分たちの生活や職場、地域との関わりを感じさせるものに

ア 戦略テーマ、戦略プロジェクトの体系図での位置づけを検討

イ 10年間の強調ポイントの明示

### (2) 市民の参画・連携につながる仕組

#### ① 市役所の対応セクション（担当部署）が分かるように

ア 実施計画の中で、どの部署が担当しているのか、市民が市役所のどこに対応を求めたらよ  
いかが分かるようにすることが必要

#### ② 総合計画の推進体制の明示

ア 各関係団体との関連や、国や県の施策とのリンクが見えるようにすることが必要

イ プラン策定後のチェック機能、市民を含めた体制を考えていくことが必要

## 3 アジアや日本の中の鹿児島市という視点

### (1) 対外的に発信する方向性

#### ① 国内外の都市間競争を見据えた、対外的に発信する都市

ア アジアを含めた都市間競争を見据え、都市は相当な意志を持ち、時代を先取りするまちづく  
りの方向性を打ち出す必要がある

イ どの都市でも掲げる基本的な部分と、全く初めて鹿児島市がトライする部分とを区分する  
と、10年間で目指す特徴あるものや新しいものが出てくるのではないか

（「安心安全」と「時代の最先端に立つ」というのが大きな要素）

ウ 市民目線からだけでなく、県から見た鹿児島市のあり方・役割、日本の中での役割、アジア  
の中で埋没しない都市の魅力を打ち出すことも、対外的に情報発信する都市像と言えるのでは  
ないか

## 4 第四次総合計画の検証

### (1) 現計画の検証

#### ① 現計画の検証を踏まえた、新たな計画の策定

ア 現計画の達成度を評価し、それを前提として計画策定を行うことで、連続性が出てくる